

消費者と生産者の協働により作成する農業マップ

# 共に考えよう 広島の農業

福山編  
in FUKUYAMA

vol.3

## 目次

- はじめに
- いきいき農業応援し隊からのお知らせ
- 生活学校ワークショップ  
「もったいないを考えよう」
- 未来をになう子どもたちへ
- 行ってみにゃあ！来てみにゃあ！！  
「熊野市民農園・ふくやまSUN」
- 編集後記



農業を知ること

は 私たちの食そのものを知ることであり

農業を支援することは

私たちの命を守ること



今回、協働いただいたのは福山市民の皆様。

そして、私たちは「いきいき農業応援し隊」と申します。

このリーフレット作成は福山市協働のまちづくり基金を活用しています。

## はじめに

### ○福山市の農業の概要

福山市の農業は、温暖な瀬戸内式気候に恵まれ、水稻を中心に日本一の生産量を誇るくわいを始め、ぶどう、ほうれんそう、肉用牛などの様々な農畜産物を生産してきました。

しかし、都市化や担い手不足などにより耕作放棄地の増加などが問題となっています。また、農業集落においては過疎化により地域コミュニティの維持が困難な地域もあります。

一方では、輸入食品の残留農薬や国内農産物の産地偽装などを契機として市民の「食の安全・安心」に対する要望はますます高まりをみせています。

こうした状況の中、本市においては福山市農業振興ビジョンを策定し「持続性と活力に満ちた都市農業の確立」と「農”のある豊かな生活環境の創出」を基本理念に掲げ、農業生産基盤の整備、福山産農産物のブランド化、集落法人の育成、鳥獣による農作物被害対策などにとりくんでいます。

今後、福山市の農業を維持発展させていくためには、農業者や行政の努力はもとより、消費者の理解と協力が欠かせないものとなっています。

#### ○集落法人の概要

名称：農事組合法人 ファーム夕日の里(県内 98 番目)  
設立：2007 年(平成 19 年)7 月 12 日  
住所：福山市神辺町大字八尋 7 番地  
構成員：72 人  
集積面積：18ha

名称：農事組合法人 おかだ(県内 113 番目)  
設立：2008 年(平成 20 年)1 月 7 日  
住所：福山市沼隈町大字上山南 352 番地  
構成員：5 人  
集積面積：1ha

名称：農事組合法人 むべやまの里(県内 117 番目)  
設立：2008 年(平成 20 年)1 月 17 日  
住所：福山市駅家町大字大橋 139 番地 1  
構成員：27 人  
集積面積：4ha



## 広島県の農業事情

広島県は、県土の 4 分の 3 が中山間という特殊な構造であるがゆえに、経営耕地面積は他県に比べて狭くならざるをえない。水田及び稲作面積は急激に減少し、農業従事者のうち 65 歳以上の比率は 68%です。

広島県は施策を見直し、具体的な行動計画として

- ①産業として自立できる農林水産業の確立
- ②農林地の公益的機能の維持・発揮
- ③農山漁村における快適な生活空間の創出

この 3 つの目標を新たに掲げました。

「広島県新農林水産業・農山漁村活性化行動計画の要点<2006 年(平成 18 年)3 月>」より

その目標に向けて、集落型農業生産法人が組織されその数において広島県は日本一。

- ・福山では 2007 年(平成 19 年)7 月「ファーム夕日の里」が 98 番目に設立されました。
- ・2008 年(平成 20 年)1 月に「おかだ」が 113 番「むべやまの里」が 117 番目に設立されました。





# いきいき農業応援し隊からのお知らせ

## 「福山市は今、学校給食で 17%の地域産食物を使用しています」

新聞等でご存知の方も多いと思いますが「福山市食育推進計画『元気な福の山』～“いただきます”ふくやまの幸～」が策定され、この4月から保・幼・小・中学校で食育のとりくみを実施されます。

- ふ るさとの味を伝え
- く らしの中で食を学び
- の う林漁業の営みに感謝し
- や さいを中心とした日本型食生活で
- ま んぞく・幸せを感じる福山へ！



という実践のためのフレーズを掲げています。

私たちいきいき農業応援し隊も「生きることは食べること、命はたくさんの命で守られている」をテーマに食育活動にとりくんでいます。幼児期から「食」を身近にとらえられるように保育所などで月に一回“絵本の読み聞かせ”や“エプロンシアター”を行っています。

## 私たちは、こんなことを提案します！

<土・日・休日市民農園利用の提案>

○農業に関心のある方、月に一回私たちと農業体験をしませんか。(継続でなくても可)

○何を植えるかは講師の先生に指導していただく。

○収穫したものはみんなで食べる。この日だけの参加も大歓迎。

都会で生まれ育った若者、都会で就職している人たちにとって、農業に従事し、自然豊かなスローライフを体験することは、自己実現のチャンス!! 農業に関心のある方はぜひ連絡してください。

希望者には技術習得セミナーとして福山市園芸センター(金江町)で技術指導等も行われています。

農業に関心のある親子、若者が熊野市民農園に集まり、コミュニケーションを育みながら、家族のようなつながりを広げていくことで、共に自分たちの食を見直し、そして福山の農業を支えていきませんか？

また、福山の就農支援・空き家・空き地の情報提供を待っています。

連絡先・・・084-928-0481 君塚  
084-933-2429 近藤

スタッフ募集中!!

私たちの活動に共感し、リーフレットづくりなど様々な活動に参加して下さる仲間を募集しています。



# もったいないを考えよう

## 生活学校ワークショップ「もったいないを考えよう」

参加者の皆さんと生活の中の「もったいないの工夫」を話し合い  
日々の生活を振り返り、互いの学びとしました。

日時 2007年(平成19年)6月26日(火)10:00～11:30

場所 本郷公民館

参加者 本郷地区生活学校とボランティアの会 25名

内容 問題提起とワークショップ

ひとつの班5名で、ワークショップを行う。

もったいないの工夫、していること・していないこと

自分にとって食の安心とは



## 《みなさんの発表内容》

### もったいないの工夫(している)

- 大根の皮を厚くむいて料理に使う〔キンピラ・漬物〕
- 大根の葉を菜めしにしたりふりかけ、漬物にする。
- レタスの硬いところは湯をとおして酢の物にする。
- 残り野菜をかきあげにする。
- 野菜や煮物が余ったら、細かく刻んで、炊き込みご飯や寿司の具にする。
- 保存食を作る〔旬の野菜果物が多量にできたとき〕・漬物・酢漬け・ジャム
- 大根をすり下ろして袋に保存し脱臭に使う。〔まな板・魚調理後の手洗い〕
- 個別に新聞紙にくるむなど保存の工夫をして食材を長持ちさせる。
- 使用後のレモンはシンクを洗う。〔卵の殻も〕
- たくさん採れた野菜は近所におすそ分けする。
- 米のとぎ汁を拭き掃除に使う。
- 工夫していることを家族に伝える。
- 野菜のくずを畑の肥料にする。



### もったいないの工夫(していない)

- にんじんの皮、大根の皮を捨てる。
- キャベツ・レタスの外側を捨てる。
- 野菜を作っているので粗末にする。〔たとえば大根を半分しか使わない〕
- 買いすぎた食品や食べ残しを冷蔵庫の奥にしまい込み食わずに捨てる。
- 調味料の確認をせず余分に買い込み、無駄にする。
- たまねぎ、ジャガイモは芽が出たらごみへ出す。
- 調味料を最後まで使い切らない。

### 自分にとって安心とは

- 無農薬のものを食べる
- 国産の物を買う。産地確認、地場産の物を使用。
- 旬の食材を使う。
- 添加物表示をよく見て買う。
- 家庭菜園の場合、農薬と、化学肥料を使用しない。
- だし汁は市販の調味料を使わず、イリコや昆布などを使う。
- 洗剤を必要以上に使用しない。
- 自給自足をする〔野菜・イモ類〕
- 味噌やドレッシングなどは手作りしている。
- 信頼できる生産者に、一年分の米を契約している。







# 未来をになう子どもたちへ

## 「生きることは食べること，命はたくさんの命で守られている」

2007年(平成19年)12月18日(火)10:00～, 宜山保育所で、「食育」をテーマに「お話し会」を開きました。絵本2冊の「読み聞かせ」, 「エプロンシアター」を2つしました。



### 紙芝居

「せかいー大きなケーキ」

古田 足日 作・田畑 精一 画 / 童心社

### 絵本

「がぶり もぐもぐ！」

ミック・マニングとブリタ・グランストローム作

藤田 千枝 訳 / 岩波書店



### エプロンシアター

「お誕生日おめでとう」「カレーライスホイホイ」

いきいき農業応援し隊は「生きることは食べること，命はたくさんの命で守られている」をテーマに絵本・紙芝居・エプロンシアターなどを使い子どもたちへの食育活動をしています。

### <保護者の声>

- ・「家では野菜が豊富ですが，子どもたちはあまり好きではないので，野菜の世話を積極的にさせたいです。」
- ・「食べ物に関しては私も，気をつけなければならないと思います。できるだけ国産[ブロッコリー，アスパラ，肉など]のものを高いけれど買うようにしています。それと娘の弁当には冷凍食品は使いません。」
- ・「自分の国で賄えるものが少なく外国に頼りきっているといわれたら，未恐ろしいですね。」
- ・「私の周りでは野菜を作っている家が多いので，新鮮な野菜が食べられるので幸せです。」
- ・「日本の自給率の話やふくやま SUN の野菜の話が色々聞けてよかったです。新鮮な野菜は本当においしいです。子どもも喜んで食べてくれて助かります。子どものためにも自分のためにも食材は考えて買いたいと思いました。」
- ・「子どもにも一緒に手伝わせておいしさやありがたさを教えていきたいと思いました。口から入るもので子どもの体は作られているので私たち親が，しっかり選ぶ知識をつけなければいけないと思います。」



# 行ってみにゃあ、来てみにゃあ

## 熊野市民農園

水呑町から沼隈町に抜ける福山沼隈道路の中央，熊野町銀座商店街を過ぎ，酒屋の三叉路を左折し，山側に少しあがると行き交う車の騒音がうそのように消え，一転して穏やかな空気が流れる田園風景が目に飛び込んできます。

熊野水源地，常国寺の西側下方あたりに「JA福山市熊野支店」「熊野公民館」の隣に熊野市民農園は位置します。

福山市の協力のもと，地域活性化のため「熊野町里づくり協議会」によって熊野市民農園は開設されました。きれいな空気と豊かな自然で心身ともにリフレッシュ。

その手にクワを持ち，安心安全な食材を作る。これぞ究極の贅沢，スローライフとも言えそうです。皆さん，是非，お申込みください。お待ちしております。

お申込み・お問い合わせ…福山市農政課 084-928-1031

行ってみにゃあ。作ってみにゃあ。おもしろいでえ！



写真左：貝田哲郎さん  
地元中学校の校長経験を持ち，現在は農業生産者のひとりとして，市民農園の管理や，農業指導を行っている。

写真右：熊野市民農園

## 食べなきやソンソン！

◎福山の郷土料理のご紹介

### 「がじつ和え」

がじつ和えの「がじつ」は元旦という意味があり，穴子と野菜を和えた料理を食べる習慣が瀬戸内にあります。1年の無事を感謝し新年を祝うお正月料理です。





## ふくやま SUN

福山市で生産している農産物のなかで“ふくやまブランド農産物推進協議会”が、適切な栽培基準で生産され、栽培履歴が確認できると認定した「新鮮・品質・おいしさ・安全性」を備えた地場農産物を「ふくやま SUN」というブランドとして紹介しています。



「ふくやまSUN」がいつでも置いてある店  
エム・バリュー多治米店を訪問

「ふくやま SUN」ブランドをとりいれ、4年目に入る。安定した供給をはかり、当初から比較し 1.5 倍の売り上げになっている。地域の消費者に「地産地消」が定着してきている。

## 冊子の紹介

「ふくやま SUN」  
ふくやまブランド農産物推進協議会



「ふくやま SUN」ブランドの紹介と、  
農産物の産地・特徴だけでなく、食材を使ったレシピなども  
紹介しています。



<材料：4人分>

- a. 焼きあなご・・・60g
- b. ほうれん草・・・200g
- c. しょう油（濃口）・・・小さじ2
- d. さとう・・・小さじ4
- e. 酢・・・小さじ1
- f. 白ごま・・・少々

<作り方>

調理レベル★ 調理時間 15分

1. あなごはフライパンで焼き、幅1cmくらいに切る。
2. ほうれん草は茹でてしぼり、3cmくらいの長さに切る。
3. 調味料を合わせておく。食べる直前に1と2と白ごまを和える。



# 編集後記

## 共に考えよう 広島県の農業

リーフレットを作成するにあたり「共に考えよう 広島県の農業」というテーマを定めました。広島県は中山間地域が多くを占め、農業事情が厳しく個人での経営が困難なため「集落型農業生産法人」の数が日本一多いという実情があります。リーフレット1号・2号では「集落型農業生産法人」に視点をあて作成にとりくんできました。

しかし広島県の農業の厳しさの背景には、生産者側の問題だけでなく、消費者の「地産地消」に対する意識の薄さも問題であることがわかってきました。福山には「ふくやまSUN」という愛称で地場農産物を広めています、まだまだ消費者に浸透しているとはいえません。そこでリーフレット第3号は消費者側の問題に重点をおいて作成しました。

今後リーフレット作成にあたり、幅広い多くの皆様のご意見を活用させていただきたいと思っておりますので、ぜひご意見・ご感想をお寄せください。これからの活動につなげていきたいと思っております。

最後になりましたが、リーフレットの作成においてご協力いただいた個人・団体の方、構成・編集に関わってくださった方に心よりお礼申し上げます。

また活動資金として福山市協働のまちづくり基金を使わせていただきましたことに感謝申し上げます。



## 新製品ができました！

### 「ヘルシー豆ご飯の素」

創刊号で紹介した東広島の「ファーム・おだ」に新製品が登場！

お買い求めは地産地消の直売所「寄りん菜屋」へどうぞ。

企画編集…いきいき農業応援し隊

TEL / FAX (084) 928-0481 (君塚)

もしくは TEL / FAX (084) 933-2429 (近藤) まで

